



令和7年度 日本エースビジョン賞

全国
1位

240B21387
“仙南キング号”

B ♂ 渋谷一男鳩舎作翔

25年宮城連盟Rg 471K3,065羽中総合32位 入賞率 0.01044

宮城連盟地区N596K1,099羽中総合 4位 入賞率 0.00364

宮城連盟桜花賞892K 145羽中総合優勝 入賞率 0.00690

合計入賞率 **0.02098**

生まれ

- ・生年月日……24年5月29日
- ・順番……3番仔

鳩体

- ・大きさ……中の大
- ・体型……普通
- ・主翼の形状……キレあり
- ・腰の厚み……普通
- ・筋肉……普通
- ・ベスト時の重さ……軽い
- ・目……柿
- ・重心……中間
- ・性格……おとなしい

作出の意図

- ・距離適性……900K
- ・展開……分速1200～1300m台
- ・タイプ……安定型



* 令和7年度内閣総理大臣賞協会賞杯連盟1位 衆議院議長賞最高分速

- 200B15778 DC 渋谷一男 作翔
菊花賞500K連盟9位
直仔/Rg総合3位、地区N総合4位他
全兄弟/14年ニュー宮城連盟桜花賞総合優勝
全兄弟の直仔/19年地区N700K総合優勝
- 110L12869 B 佐藤孝行 作
110L12206 DC 佐藤 作
“アルファドリーム”(DS900K総合15位・GP800K総合17位)の娘
- 19DA13335 B 高田正則 作
直仔/200K3位、700K10位他
- 10RR01007 BW 長谷賢二 作翔
北陸ブロック連盟稚内GN総合29位
全兄弟/13年北陸ブロック連盟稚内GN総合優勝
- “フォードマン” 06RR04378 BW 長谷 作翔
08年北陸ブロック連盟稚内GN当日総合4位
同系/08年日本AP賞全国8位
- 07RR00733 BCW 長谷 作翔
石川連盟SC総合3位、Rg総合3位、地区N総合9位
“R.CH長谷3代”(ゴールドエクセレントビジョン)の直系
- 09RA03389 B 横井信治 作翔
12年北陸ブロック連盟稚内GN総合優勝
KBDB会長賞中部地区3位
メキシコ(86年リモージュN成鳩部門優勝)の曾孫×
アールデン系(05年東日本稚内GN総合228位×同レース総合17位)



賞全国1位の 盟・ニュー仙南連合会)



レース鳩」が爆誕——！

豪・渋谷一男鳩舎(ニュー仙南)は、11年の東日本大震災で鳩舎、種鳩、選手鳩を失った。全てが流された中、13年に鳩友・ちから種鳩が寄せられると、うち佐藤孝行鳩舎作同士——「110L12869×110L12206」から再開1年目にして桜花賞の年、ブロックCH賞にも輝き、劇的な復活を遂げた。そして今年、太平洋、日本海の双方のコースでレースが展開される中、倒的入賞率で、日本AP賞候補に浮上。桜花賞を制し、衆議院議長賞の全国最高分速までも射止めた「240B21387」でランキングでは——堂々の全国1位！ここに北の鳩レース王国の宿願とされる「初の日本一」が誕生した。

入賞率勝負は 近年まれにみるハイレベルで展開！

92年、日本鳩レース界の隆盛期を支えてきた笹川良一氏の会長辞任に伴い、新たに就任した森田浩光体制の象徴として設立された「日本エースビジョン賞(以下「日本AP賞」)」は、「内閣総理大臣賞」、「笹川賞(現・会長賞)」に続く第3のエースビジョン(以下「AP」)である。対象レースは「R8(公称400K以上)」、「地区N(公称600K以上)」、「桜花賞(公称800K以上)」であり、従来の2賞を融合した内容。かつR8と地区Nが「5%」、桜花賞が「10%」という条件まであり。まさに全距離に強いゼネラリスト——「究極のレース鳩」を追及するタイトルだ。ゆえに日本AP賞は「レース鳩の最高賞」と言つて過言ではない。

受賞範囲は「会長賞」、「総理大臣賞・協会賞杯」のように連盟単位ではなく、「全国」から申請されたレース鳩の上位「10羽」。優秀は3レースの入賞率の合計で決め、低い順にランキングしていく方式だ。

毎年延べ10万羽がこの賞レースに挑んでいるものの、規程クリア——入賞率決戦に持ち込むことのできるのは20羽いるかどうかである。また過去2回、ベストテンすら

揃わなかったこともあり、ゼネラリストを作りだすことがいかに難しいことを物語るデータだ。

令和7年度は、延べ「126965羽」中18羽が規程をクリア。そのうちの4羽が九州ブロック連盟である。3年前に「KBD B会長賞全国優勝」、昨年は「GN当日帰り」という2つの史上初を実現した勢いを現すかの如く成果だ。

受賞できるか否かは、ここ近年は「10%内」が一つの目安になっているものの、今年はさらに熾烈を極め、「7%台」に。ハイレベルな入賞率勝負は、頂上決戦にも反映され、なんと「2%台」同士で繰り広げられた。結果、本年度「日本一のレース鳩」の称号を手にしたのは、合計「0・02098」をマークした渋谷一男鳩舎(ニュー仙南)作翔の「240B21387」。北の鳩レース王国「宮城連盟」において、史上初の全国1位獲得である！しかも桜花賞を驚異的なスピードで制したことで「衆議院議長賞全国最高分速賞」も受賞。この組み合わせでの二冠は、同賞史上初めてだ。

今年の日本一のレース鳩は 長距離スピードバードの頂点！

「公称800K以上」のレースで全国最速、日本AP賞での合計入賞率は全国1位、そしてレース鳩

としての能力がより正確に測れる「平均分速率」でも堂々のトップ(0・95966)。本年度の「日本一のレース鳩」は、競翔家たちが追究してきた「長距離スピードバード」の完成形——否、頂点といって過言ではない。それゆえか「筋肉の張り」、やや「大きなボディ」、それに反して「軽いウェイト」、そして「目のしぼり」も顕著だ。

作翔者・渋谷鳩舎は、宮城鳩界を代表する強豪である。しかし東日本大震災によって自身の鳩舎は倒壊、津波に流されてしまい、これまでの栄光をもたらしてきた飛び筋(※ヤンセン系、ファンデウエーゲン系)、その全てを失ってしまった。しかし再出発にあたり、鳩友たちが自身の勝ち筋を無償で提供。中でも佐藤孝行鳩舎同士の配合は驚くほどの成果を残し、再開1年目で桜花賞総合優勝を果たすと、孫の代では地区Nを制覇(19年)。「110L12869×110L12206」は、今における渋谷鳩舎のゴールデンカップルといったところである。

そして「240B21387」自身もこの黄金交配の孫鳩だ。父方となるこの銘血を掘り下げてみたところ、アルファロフトの飛び筋が絡んでいることが判明。それは西鹿児島GN総合2位・連盟優勝を飾った「アルファ・ファイリー」(2分の

令和7年度 日本エースビジョン 作翔者・渋谷一男鳩舎(宮城連)

北の鳩レース王国・宮城連盟から初となる「日本一の



作翔者・渋谷一男鳩舎(ニュー仙南)のプロフィール

- 鳩歴／30年 ■レース歴／再開12年
- 鳩舎規模／種鳩7坪70羽・選手鳩4坪69羽
- 主力系統／鈴木信義鳩舎、佐藤孝行鳩舎、渡辺正広鳩舎の各飛び筋
- 代表翔歴／Rg、地区N、GP、桜花賞、CH各総合優勝
ブロックCH賞2回、衆議院議長賞全国優勝

総合優勝を幾度も重ねてきた強村上光明鳩舎らと再出発。鳩友た総合優勝鳩が誕生した。さらにその鳩舎の1羽が「2%台」という圧ある。そしてこの度発表されるラ

1ファンデウェーゲン」という同ロフトの看板鳩の血が、三塚務鳩舎(宮城中央)の基礎鳩「アルファドリム」を介して脈を打っている。岩田773(下関DM総合優勝)も流れるこの血筋から数々のCHが輩出され、三塚鳩舎自身にも桜花賞二連覇、ブロックCH賞獲得といった栄光をもたらしたことは有名な話だ。

対して母親は、北陸ブロック連盟の稚内GNの記録鳩同士の交配で作られた種鳩。そのオス方は長谷賢二鳩舎の果たした稚内GN総合優勝鳩の全兄弟で、代々北海道レースで練り上げた飛び筋である。あえていうなら「長谷稚内系」といったところだが、これらの筋からは「日本AP賞」や「ゴールドエクセレントビジョン」といったAPも誕

生している。

一方のメス方——母親は、稚内GN総合優勝鳩自身。しかもKBD B会長賞中部地区3位との二冠鳩だ。横井信治鳩舎作翔で、渋谷鳩舎の血統書には「アールデン系」とだけ書かれているが、かのローゼンスの銘鳩「メキシコ(リモージュN優勝)」の直系であることにも触れておこう。

実績に加えて生物の本能を利用!

渋谷鳩舎ではいかなる系統であつても実績なきものは種鳩から外していき、またカップルの決め方も複数のオスメスを部屋に入れて、自然に選ばれるというスタイルだ。結果、「240B21387」はハイブリッド方式となつたが、あくまで実績重視、さらに「鳩の好み」にあわせて誕生したということである。生物の本能も利用したこの手法からは、多くのCHが意外にも生まれており、見方によつては王道の一つだ。ところで今年の宮城連盟では、GNが11年ぶりに成立した他、桜花賞が記録的好帰還となるなど、当たり年となつた。そしてこの度の渋谷鳩舎によるエポックメイキングはその象徴だといえよう。あるいは——北の鳩レース王国「宮城」が、日本鳩レース界を席巻するための狼煙なのかもしれない。

23KA19795 “ハリマオ・エーストップ”

B ♂ 小田義光鳩舎 作翔

25年春埼玉連盟Rg 447K7,405羽中総合69位

入賞率 0.00932

埼玉連盟地区N 556K5,511羽中総合78位

入賞率 0.01415

埼玉連盟桜花賞952K1,443羽中総合 5位

入賞率 0.00347



23KA19795 小田義光鳩舎
(埼玉連盟・埼玉北辰連合会)

合計入賞率 0.02694



*令和7年度内閣総理大臣賞協会賞杯連盟2位

- 22KA01436 B 小田義光 作
- 21KA04295 B 鈴木 隆 作
“レジョ6” (17年秋Rg総合6位) ×
“ミラクルチャンピオン” (18年東日本CH総合優勝)
- 17KA28955 B 小田 作翔
19年東日本CH総合18位・D地区優勝
- 17KA37391 BC 伊藤 作
- 14KA38432 BC TKロフト 作 伊藤鳩舎種鳩
13年東京多摩連盟地区N600K総合優勝 ×
“デン・ファボリート・スミス” (ソフソフ5位、ラヨン7位他) の娘
- 14KA29367 B 新井 繁 作 伊藤鳩舎種鳩
“白鶴900” 11KA01900 B 新井 作
“白鶴247” (“白鶴GN” × “白鶴天塩”) ×
“白鶴CHレディ” (“白鶴247”の娘/06年東日本CH総合7位)
同腹の孫/上記“ミラクルチャンピオン”
→ “白鶴180” 09KA35180 B 新井 作翔
10年春埼玉Rg11,301羽中総合5位 “白鶴247”全妹の娘

日本一に勝るとも劣らない
日本2位!

06年に鳩レースのメッカ「埼玉連盟」で再開した小田義光鳩舎(埼玉北辰)。「そのために引越した」という熱量は結果に反映され、所属する埼玉北辰連合会では、「日本最優秀鳩舎賞」2回の新井繁鳩舎と双壁をなす強さを示している。

小田鳩舎は今年、「日本優秀鳩舎賞」と「ブロックCH賞」をダブル受賞。キャリアハイを彩るポイントゲッターの1羽「23KA19795」は対象レースにおいて「1%台1回」、「1%内3回」入賞を収め、日本AP賞では合計入賞率「0.02694」

694」を叩き出していた。ここ近年では全国1位でもおかしくない数値であり、小田鳩舎自身も大きな期待を込めて申請したが——結果は惜しくも全国2位止まり。埼玉連盟として21年ぶり、かつ団体最多となる4羽目の「日本一のレース鳩」誕生には一歩届かなかった。

小田鳩舎にとつて2羽目となった受賞鳩は前回と異なり、本筋ではあらず。とはいえ、自身の桜花賞総合優勝鳩の隔世の成果であり、また受賞鳩には屋号ともいえる「ハリマオ」の名を冠していることから系統化——「小田ハリマオ系」第2の筋に昇華されるかもしれない。

一方、血量でみると前述の新井鳩舎の勝ち筋「白鶴系」が圧倒的に占めている。しかも昨年の「VENUS」を含めこれまで2羽の日本AP賞全国1位を生み出した「白鶴GN」×「白鶴天塩」配合が確認できるだけで4重! “白鶴系の申し子”という面では前年の受賞鳩「ハリマオエース」と同じ、「白鶴系の申し子」だ。

この「ハリマオ・エーストップ」は、埼玉連盟のAP賞の規程——「地区N」でなく、同じ距離感で公称700Kとなる埼玉の「GP」で換算した場合、合計入賞率は「0.01806」である。実力的には日本一に勝るとも劣らない超銘鳩といって過言ではないだろう。



24YH06166 “葉隠号”

BCWP ♀ 内田一美鳩舎作翔

25年春中九州連盟Rg 512K1,614羽中総合34位

入賞率 0.02107

中九州連盟地区N734K 628羽中総合10位

入賞率 0.01592

中九州連盟桜花賞999K 82羽中総合 2位

入賞率 0.02439

全国
3位

24YH06166 内田一美鳩舎
(中九州連盟・佐賀連合会)

合計入賞率 0.06138



衝撃!

中九州初の受賞鳩が
ブロック最高位!

九州は九州でも有明海寄りに位置する中九州連盟は、日本海沿いの王道ルートから大きく外れた地域である。そのため各レースの帰還は極めて困難であり、とりわけ最終レースとなる桜花賞やGNではその傾向がより顕著に現れる。こうした環境であるため、協会タイトルとは無縁状態であったが、この度の日本AP賞の誕生は、九州全土に大きな衝撃を与えたに違いない。しかも受賞鳩は1羽でなく2羽! そのうちの内田一美鳩舎(佐賀)作翔の「24YH06166」が、九州ブロック連盟と

*令和7年度内閣総理大臣賞協会賞杯連盟1位

- 15YH15032 DC 内田一美 作
- 12YH03347 DC 内田 作翔 菊花賞500K6位
 - ノーリング(10年生) DC 近藤保雄 作
 - 紫陽系 兄弟/200K総合優勝、700K優勝
 - ノーリング(08年生) B 近藤保雄 作
 - “筑後遊佐号”(1100K3回)の3重近親
- 12YH03369 BP 内田 作
 - (乙系×モイレマン系)×
 - (ファンネ・グロンドラース・広島在来各系×ホフケンス系)
 - 兄弟/300K総合2位、500K
- 17YH07182(18年生) BC 新藤数芳 作
- 10-109165 B 武富八洲男 作
- 12YT05404 RCW 長沢正之 作
 - NL10-1647168 RCWP ハーゲンス兄弟 作
 - “ゾーン・サリナ”×“ドーター・アンジェロ”
 - “ブリュッヘマン742” BC 香山光男 作
 - “デン51”(“オード62”3重近親/“ロイ50”曾孫)の娘

して最高位となる全国3位に選出された。
エポックメーカーとなった受賞鳩の父は、内田氏の師匠にあたる近藤保雄氏(佐賀)の代表鳩“筑後遊佐号”と田代秀男氏(北九州)のオリジナルライン“紫陽系”、また新人時代に出席した「鳩を語ろう会」で導入したという乙川清氏(故人)の「乙系」で構成され、自鳩舎で結果を残してきた、まさに本筋である。さらに両師匠の飛び筋を通じて、西日本稚内GNで九州地区優勝を果たした伝説的2羽——「ビービークイン号」(73年)と山本和宏氏の「75PA8610」(77年)の血も脈を打っており、内田氏曰く、受賞鳩の特徴としてあげた「無尽蔵なスタミナ」は、まさにこのレジェンドたちによる「血の廻り」なのかもしれない。

一方、母親は本人の意図として「異種同系交配」にと思い選んだようだが、実としては全くの異血だ。それは兄弟子・溝田靖博氏(福岡つばさ)のもとで活躍した血筋で、ブリュッヘマン兄弟の「オード62」、ハーゲンス兄弟の「サリナ」、フェルテルマン父子の「ロイ50」と、これまで日本AP賞を多数輩出してきた世界的銘系が連なった構成となっている。

この配合は、ヒロインを含める全兄弟が、困難とされる700Kを攻略しており、当たりの可能性は大。師匠たちとの縁と導きに内田氏が感謝していることは言うまでもない。



23YH02333 “村上ドリーム号”

DC ♀ 原田信之鳩舎作翔

25年春中九州連盟Rg 513K1,614羽中総合10位

入賞率 0.00620

中九州連盟地区N735K 628羽中総合29位

入賞率 0.04618

中九州連盟桜花賞999K 82羽中総合優勝

入賞率 0.01220

**全国
4位**

**23YH02333 原田信之鳩舎
(中九州連盟・佐賀中央連合会)**

合計入賞率 0.06458



**ドリームメーカーが運んだ
全国区の称号!**

全国4位に輝いたのも、同じ中九州連盟所属の**原田信之鳩舎(佐賀中央)**である。原田鳩舎はこれまで総合優勝を多数重ねてきた九州屈指の強豪として知られていたが、不思議と1000Kだけは勝てず、記録内帰還すら果たせない年が続いていた。そんな長年の壁を破り、実に40年越しの宿願を「総合優勝」という最高の形で実現させたのである。しかもその勝利方法は、松浦方式すなわち「訓練のみで仕上げる調教法」。この手法で頂点を掴んだドリー

***令和7年度内閣総理大臣賞協会賞杯連盟2位**

- 18WA01577 BC 金澤浩二作
- “オベル3377” 06WA03377 B 金澤作
- “伊賀シルバー号” × “ブルドックOFオベル” 近親
- 全姉/“MISSオベル2005” (05年四国連盟桜花賞1000K総合優勝)
- 兄弟の仔/GP1000K総合6位
- 17WA03399 DC 金澤作
- “伊賀オベル・アイザクソン” 近親 × 上記 “MISSオベル2005” の全妹
- 21YH02757 DC 原田信之作
- 14YH06044 (18年生) BC 野上定良作
- (ブリュッヘマン兄弟、“ミスミレ帝王号”、
- カイバー兄弟各系) × 地区N700K優勝・総合6位
- 20YH05370 原田作
- 18YH05104 PB 原田作翔 秋200K5位
- 両親/今井雅之作
- 18YH05216 BC 原田作翔 20年春400K
- 母方祖母/08年会長賞 × 13年会長賞 (06年地区N総合優勝の娘)

ムメーカーこそ、この度の日本AP賞「23YH02333」である。
原田鳩舎に基礎鳩という固定概念はないものの、この1羽には冒頭の活躍劇を演出してきた勝ち筋が、母方祖母に受け継がれている。その大元は、鳩友の中村和悦氏(茨城西)との共同で作出した「05YH11728」。自身にとって初の総合優勝鳩だ。このメモリアルCHは、「帝王系」、「オベル系」、「アイザクソン系」の混成。対して受賞鳩の母方祖父には「帝王系」、そして父親は「オベル系」、「アイザクソン系」の重近親であり、異種同系交配の連鎖によつての成果であることがわかる。
なお後者(父)には、全国3位鳩と同様にレジェンド——75年の西日本稚内GNで九州地区優勝を果たし、1600K分速日本記録を樹立した「マリア号」を形成する「ブルドックOFオベル」の血が強く脈を打っており、ブラッドスポーツ特有の「魅りの物語」を感じさせるものがある。
現在の九州鳩界は、22年にKBD B会長賞全国優勝、昨年はGNで当日帰りと、「史上初」が続き、会員たちの熱量は高い。中九州連盟で2羽、そしてブロック全体で3羽、日本AP賞を受賞しており、まさに九州鳩界の勢いを象徴する成果といったところであろう。

24HF13245 “ブラボーカッキー”

BC ♀ 柿木雄行鳩舎作翔

25年春東坂東連盟連盟Rg503K2,254羽中総合10位

入賞率 0.00444

東坂東連盟地区N 693K 974羽中総合44位

入賞率 0.04517

東坂東連盟桜花賞 911K 434羽中総合10位

入賞率 0.02304



24HF13245 柿木雄行鳩舎
(東坂東連盟・栃南連合会)

合計入賞率 0.07265



雑種強勢によって作られた
覚醒の象徴!

全国5位に選出されたのは、合計入賞率「0.07265」をマークした

柿木雄行鳩舎(栃南)作翔の「24HF13245」である。この1羽は名門・東坂東連盟を舞台としながらも総合ベストテンに2回入賞という離れ業を演出。しかもRgと桜花賞——約1か月半間隔を空けての成果であり、本来なら崩れるであろうコンディションを持続させた能力は、まさに非凡だ。受賞鳩の配合式は「長距離×中距離」。長距離系となる父親は、ベルギー鳩舎の長老・インブレッक्सの作出鳩で、バルセロナ4回の代表鳩「プティ・

*令和7年度内閣総理大臣賞協会賞杯連盟1位

- B16-1080057 BC インブレックス 作
- B10-1527201 B インブレックス 作
「プティ・バルセロナ」(01年バルセロナN12位他3回入賞)×
「ボザット」(ボルドーN優勝)の娘
- B11-1513099 BC インブレックス 作
上記「プティ・バルセロナ」の曾孫×娘
- 17DA00670 BC チャンピオントレードロフト 作
「ブラボージョニー」
NL12-1618350 BC フェルケルク父子 作
「ジョニー・イングリッシュ」(08年AP賞オールラウンド部門10位)×
「オリンピックソランジェ」(09年オリンピックオールラウンド部門1位)
全姉/13年シャトーダンNP011,572羽中2位
「ビューティーダニーケ」
B15-6285742 BC ダニー・ファンダイク 作
「カノン」(09年西ヨーロッパカップ中距離部門1位)の父×
(上記「カノン」×アルジェントN8位の「ビューティーフライ」)

バルセロナ」の3重近親。対して母親の中距離系は、現在、ヨーロッパで句とされる銘血だ。その父方となるフェルケルク作の「ブラボージョニー」は、シャトーダンNP02位の全弟で、両親及び祖父4羽のうち3羽がNクラス、のAPという超一流の系譜を誇る。なかでも「オリンピックソランジェ」はオリンピックアード、WHzBなどでAPタイトルを獲得し、ホーイマンズの「バリー」と並んで、世界的超銘鳩として評価されている。なおこの2羽には共通してゴープマンの「ゴールドンレディ」とその父・ファンダイクの「ガニバル」の血が流れており、改めて影響力の強さが伺える。

一方、受賞鳩の母方祖母は、同じファンダイクでもダニー・ファンダイクの代表鳩「ガノン」の父と娘の交配で作られている上、リック・ヘルマンズの「ビューティーフライ」も絡んでおり、結果的に「ガニバル」の4重近親だ。この母方からはAPの遺伝的輪廻が強く見られている。こうしてみると、「24HF13245」は一代雑種の交配となっており、遺伝の法則は正しく発動したといったところだ。

さて作翔者の柿木鳩舎は国内外の最新銘血に敏感に反応するコレクター気質の愛鳩家として知られている。しかし昨年、連盟優勝3回を果たすなど競翔家としての実力を大きく開花させた。今回の「ブラボー」受賞劇は、まさにその覚醒を象徴する出来事といえよう。



24LK07751 “ドリームエース”
B ♂ 伊藤信義鳩舎作 ミヤモトレーシング委託
 25年春茨城連盟Rg 407K2,645羽中総合76位
 入賞率 0.02873
 茨城連盟地区N 600K2,217羽中総合59位
 入賞率 0.02661
 茨城連盟桜花賞949K 922羽中総合16位
 入賞率 0.01735



24LK07751 ミヤモトレーシング
(茨城連盟・茨城東連合会)

合計入賞率 **0.07269**



**総合優勝の連鎖で紡がれた
個人委託鳩舎初の日本AP!**

選出。個人委託鳩舎において最高賞となるこの2つを早々に獲得したことになる。

23年度より個人委託鳩舎の「会長賞」と「日本AP賞」の授賞が解禁され、**ミヤモトレーシング**（茨城東）がわずか1年目にして、前者（※会長賞）の全国1位を獲得したことは記憶に新しい。代表・宮本義明氏の類まれな競翔手腕から数々の活躍が生まれていることは有名であり、同鳩舎は第二次個人委託鳩舎ブームの立役者といったところである。

受賞鳩の委託者及び作出者は、**伊藤信義鳩舎**だ。千葉東連盟の強豪として有名であり、本年度にいたっては、「日本優秀鳩舎賞」に選出されている。ミヤモトレーシングに委託した「24LK07751」は、「自鳩舎の飛び筋×異血」で作られたもののだが、どちらも地元（千葉東）のレースに適したスピード系だ。

今年、ミヤモトレーシングは2羽の日本AP賞候補を誕生させた。うち合計入賞率で「7%」台に抑えた「**24LK07751**」が全国6位に

異血側である父親は古西正二鳩舎（常陸小川）の「総合優勝×総合優勝鳩」の配合で、マルセリスの銘鳩「スプリント」の近親交配にもなっている。また日本AP賞全国2位の母親である「ドリームガール」（カウ・ガール）の娘の血が流れており、「スプリント」を含めて、APとしての因果は「あり」だ。

対して本筋の母親もまた「総合優勝×総合優勝」の配合で生まれた伊藤鳩舎の基礎鳩「07LK000001」の直仔。母鳩自身でないものの、全姉の直仔が秋の300Kを制しており、まさに総合優勝の系譜だ。また血統の一部にロードホフ系が絡んでおり、こちらの筋は不明であるものの、「036」、「トム」、あるいはヤンセンで見たとしても大元はAP! 「24LK07751」もまた「CHからCHが生まれる」というブラッドスポーツの体現者だった。

- 19LK20365 B 古西正二 作翔 20年如月賞5,130羽中総合130位
- “タイガ” 10LK00761 B 古西 作翔
- 10年秋菊花賞400K連盟優勝 ダーネン作の直仔×バルクモース 作翔
- “ヒロイン” 15LK03543 B 古西 作翔
- 15年千翔会500K4,966羽中総合優勝
- (バルクモース作×“ドリームガール”)×
- 地区Nダービー総合優勝(バルクモース作の娘)
- 19LK11490 B 伊藤信義 作 全姉の直仔/17年秋秋華賞300K総合優勝
- 07LK00001 B 伊藤信義 作翔 基礎鳩
- 07年秋千翔会スプリント500K総合6位
- 06LK01763 BC 伊藤 作 上野裕介 使翔
- 06年秋Rg総合優勝・千翔会6,394羽中最高分速
- “オード・ドファーチェI” (A・シモンズ基礎鳩)の直系
- 04LK02216 BC 広田 作翔 04年秋Rg総合優勝
- “デン31” (エンゲルスの源鳩)の曾孫
- 14LK05282 BW 森 充 作翔
- 14年秋菊花賞400K4,424羽中連盟6位 ロードホフ作×ダーネン作



23YA05292 “マニックマンデー”

B ♀ 石井節生 作翔

25年春東九州連盟Rg 444K1,187羽中総合28位

入賞率 0.02359

東九州連盟地区N 665K 657羽中総合26位

入賞率 0.03957

東九州連盟桜花賞927K 300羽中総合 3位

入賞率 0.01000



23YA05292 石井節生鳩舎
(東九州連盟・ちくぜん連合会)

合計入賞率 0.07316



九州の革命児、再び——！
“九州の伝説”の孫でAP受賞！

再開わずか2年でRgにおいてオール九州を制し、当時「暗黒期」とも呼ばれたGNで帰還どころか連盟優勝を達成。うち後者の1羽は、九州鳩界初となるKBDB会長賞全国優勝を射止め、さらに史上3羽目となる日本AP賞にも選出された。リスタートとはいえ、わずかなキャリアで新たな歴史を築いた**石井節生鳩舎（ちくぜん）**は、連盟レース全制覇など活躍劇が続き、独自のメソッドで最長距離レースでの成功者を多数生み出している市川敏夫鳩舎（福岡）と並び、九州におけるアイ

- 20VB02665 G 伊木功尚 作
直仔／“ドリーム・グリジェ”（23年桜花賞総合優勝）
- 17EE09771 B 白山正恵 作出 伊木 使翔
11枚羽根 1/2ダイヤモンドバーカー系
- 16EE12304 WG 白山 作 1000K総合優勝姉妹の娘
- 22YA02024 BC 石井節生 作
全兄弟の直仔／**25年総理大臣賞・協会賞杯西九州連盟1位**
- **“サタデーナイトフィーバー”**
21YA00904 BC 石井 作翔
22年**KBDB会長賞全国優勝、日本AP賞全国4位**他
父／“ダンスインザダーク”×“バコ”（下記の娘）
- “サンデーガール” 21YA00939 B 石井 作翔
22年酒田GN1000K総合5位
- 20YB00430 BW 中川和美 作
18年酒田GN1100K唯一羽帰リ総合優勝の直仔
- 20-058946 BC チャンピオントレードロフト 作
“バコ”（15年ボーN6位／“ズワルトゴウド”近親の直仔）×
“マーフィズロー”（FCIエースビジョン賞1歳鳩部門1位）の異母妹

コン的存在である。今年の石井鳩舎はRg、そしてCHにて再びオール九州を制覇し、ブロックCH賞も受賞。さらに日本AP賞の規程をクリアしたCHまで誕生させた。その1羽こそ、今回全国7位に選出された**23YA05292**である。

父親は前述の連盟レース全制覇を達成した際の1羽であり、自身の夢だった“色鳩での”総合優勝を実現した“ドリーム・グリジェ”を生んだブリーダー。対して母親は、石井鳩舎が最高鳩と称する“バコ”の近親である一方、なんと冒頭の伝説的超銘鳩“サタデーナイトフィーバー”の娘でもあった。この度の受賞鳩は、“マニック”の愛称がついている通り、石井鳩舎に熱狂的な喜びがこみあげてきたことは言うまでもない。ちなみに“サタデーナイトフィーバー”と“サンデーガール”の配合は、今年もう1羽、日本AP賞の候補（*市川敏夫鳩舎）を生み出しており、当たり配合の様相を見せている。

作翔者である石井鳩舎にとって九州鳩界最多となる2羽目の日本AP賞の受賞となったわけだが、これまでの成績をあわせれば、その強さは天井知らず、といったところだ。ゆえに自身の最終目標でもある「日本AP賞全国1位」の獲得——再び新たな革命をもたらすことになるかもしれない。



24RA02597 “サンダーバードAP”

DC ♀ 下村健造鳩舎作翔

25年春北陸北連盟Rg 469K759羽中総合 6位

入賞率 0.00791

北陸北連盟地区N 575K552羽中総合14位

入賞率 0.02536

北陸北連盟桜花賞769K116羽中総合 5位

入賞率 0.04310



24RA02597 下村健造鳩舎 (北陸北連盟・富山連合会)

合計入賞率 0.07637



- 15RA06665 BC 下村健造 作
全兄弟/地区N600K総合優勝、GP700K総合優勝
直仔/Rg300K総合優勝、菊花賞連盟優勝
- “菊花プリンス” 10RA06303 BC 下村 作翔
Rg400K総合2位
母/“**チエアーウィーン**”(09年協会賞/90年稚内GN総合2位の直系)
- “サンダーバード710” 08RA07710 BC 下村 作翔
Rg400K総合4位
→ 06MB10124 B 鹿島成浩 作
農水賞600K優勝×農水賞600K優勝
- 06RA06655 S 藤井直将 作
“稚内チャチャ”(03年稚内GN総合優勝)×
“稚内オスカル”(97年稚内GN総合優勝)
- 20RA04112 B 下村健造 作翔
22年小樽桜花賞800K総合優勝
- 13KA30379 B 奥住豊 作 “カニパール”重近親の直仔
- 14RA02036 BC 笠井俊宏 作 上記06RA06655の孫

下村健造鳩舎(富山)は、再開とはいえキャリア15年にしてグランドスラムを達成した北陸鳩界屈指の強豪である。つまりオールラウンドに強いというわけだが、その象徴的な1羽が今年誕生。それは、日本AP賞の全国8位に選出された「24RA02597」である。

もともと下村鳩舎的にとつては異端児といえる存在かもしれない。なぜなら1歳鳩は内地で終わり、北海道レースは2歳からというのが、同鳩舎のスタイルだからだ。しかし「高齢者同士の相互扶助」という名の強豪4鳩舎に

**真の基礎ライン「岩田」が覚醒！
勝負師魂をも呼び覚ます！**

よるスクラム体制を組む笠井俊宏鳩舎(富山)に僅差で会長賞の座を奪われたこと、そして他2人からの「煽り」もあり、勝負師としてスイッチオン！グランドスラムの達成感から久しく忘れていた感情が沸き立ち、日本AP賞狙い——鳩入魂で桜花賞に臨んだ。

自身のタブーを犯した結果、全国8位として同賞を受賞。下村鳩舎にとつて初、北陸北連盟としてはなんと13年ぶりである。血統背景からも前述のメンタルは納得だ。父親は同腹で総合優勝を生み出した当たり配合の直仔。母親はグランドスラムの立役者・桜花賞総合優勝鳩自身である。つまり実戦系統同士の融合という「事足りる」強い裏付けがあったのだ。加えて前述の当たり配合のメス方の母親「06RA06655」の血が両親ともに流れており、緩やかなインブリードとなつていく。ゆえに種としても期待大だ。

これに対して下村鳩舎は「チエアーウィーン」の血が流れていることに大きな喜びを感じているとの由。協会賞(現・会長賞)を射止めたこのAPには、中断前に稚内GNで総合2位入りを果たした「97RA13982」——敬愛する「岩田」の系譜(「チエチキキング」・岩田773の直系「GHフエアレディ」全兄弟の筋など)を紡いでいたからだ。

ともあれこの度の受賞は、下村鳩舎の眠っていた競翔家魂を再燃させており、復活の象徴となったことであらう。



23RB02749 “6冠ウルトラエース号”

BC ♀ 熊谷好修鳩舎作翔

25年春北陸南連盟Rg 450K1,226羽中総合 9位

入賞率 0.00734

北陸南連盟地区N 627K 530羽中総合 2位

入賞率 0.00377

北陸南連盟桜花賞879K 152羽中総合10位

入賞率 0.06579

全国
9位

23RB02749 熊谷好修鳩舎
(北陸南連盟・福井県連合会)

合計入賞率 0.07690



兄弟子の最高傑作を超える

6冠ウルトラエース!

北陸南連盟としては3年連続の受賞である。本年度、日本AP賞を射止めたのは、熊谷好修鳩舎(福井県)作翔の「23RB02749」だ。中距離レースのスペシャリストとして知られる同鳩舎は、まだ北陸が1つだった時代に6000羽超のRgで総合優勝を果たした実績を持つ(※87年)。その時の血が兄弟子・藤井孝彦鳩舎(福井県)の看板鳩だった「プリンス」と「プリンセス」であり、この原体験から、同鳩舎の戦力には必ずといっていいほどの2つの血が流れている。40年近く練り上げたこの「熊谷プリンス系」の重近親度は、現在10

***令和7年度内閣総理大臣賞・協会賞杯連盟2位
会長賞 シルバー・エクセレントビジョン**

19RB02936 BC 熊谷好修 作 熊谷プリンス系50重近親
「スーパースプリント」13RB08167 BC 熊谷 作翔
15年地区N総合優勝 **NPO会長賞中部地区優勝**
「CH桜花賞Ⅲ世号」(91年桜花賞1100K総合優勝親子交配の直仔)×
「コースリッキー-39」×「スーパードイブ」の娘)
直仔/24年Rg総合優勝、25年地区N総合優勝
全兄弟の孫/25年桜花賞879K総合優勝
「湯野浜プリンセス」15RB03155 BC 熊谷 作翔
Rg総合優勝、地区N総合3位、
会長賞 シルバー・エクセレントビジョン
19RB02945 BCWP 熊谷好修 作
14RB05674 BCW 熊谷 作 熊谷プリンス系70重近親
両親/地区N総合優勝
15RB03170 BCP 熊谷 作
「コースリッキー-39」(「コース」の直仔「クラインリヒテ」×「リッキー」の娘)×
ヌーエン&パーセン 作

0オーバー。自身にとって初となる日本AP賞は驚異の1200重近親だ。といっても異血を随所随所に流し込む巧みな配合手法がとられており、弊害を解消。受賞鳩でいうと父方の4分の1、母方の2分の1がそれ(異血)である。異血側に視点を変えようと、「コースリッキー39」の「曾孫×孫」の近親交配にもなっている。この種鳩は熊谷鳩舎のウィークポイント——までいかなものの、長距離の基礎的な役割を担っており、1000Kレース複数回のAPや公称1200Kとなる稚内GNからの記録鳩を誕生させている。この長距離の核は「クラインリヒテ」×「リッキー」(バルセロナIN優勝)の娘」で作られ、オス方である「クラインリヒテ」から吉田憲二鳩舎(金沢)の「雨姫」と藤井鳩舎の「五冠スーパーエース号」が誕生していることは有名な話だ。熊谷鳩舎では「CH桜花賞Ⅲ世号」で黄金交配を形成し、今年地区N、桜花賞のダブル総合優勝を実現させている。

今回の受賞鳩は血統的因果もさることながら、翔歴そのものが圧巻だ。規程3レースに加え、前年の地区Nでも総合ベストテン入りを果たしており、まさにスーパーゼネラリストといったところ。獲得したタイトルは連盟AP賞1位と連合会AP賞1位を入れてなんと6冠! 前述の「五冠スーパーエース号」を上回る翔歴ということで、藤井氏の許可を得て「6冠ウルトラエース号」と命名された。



24KA17704 “白鶴トッペン”

B ♀ 加茂 広鳩舎 作 新井 繁鳩舎 使翔

25年春埼玉連盟Rg 447K7,405羽中総合84位

入賞率 0.01134

埼玉連盟地区N 556K5,511羽中総合64位

入賞率 0.01161

埼玉連盟桜花賞952K1,443羽中総合81位

入賞率 0.05613



24KA17704 新井 繁鳩舎
(埼玉連盟・埼玉北辰連合会)

合計入賞率 0.07908



- 22KA26809 B 新井 繁 作
→ “白鶴エース838” 21KA15838 B 新井 作翔
連合会長距離AP賞1位 地区品評会若鳩・♂部一席
→ “白鶴GP” 12KA25197 B 新井 作翔
13年GP総合優勝 下記“白鶴カップクイン”の直仔
直仔/18年春Rg総合優勝
→ **17KA30008 B 新井 作翔 18年会長賞**
父方祖父/“白鶴カップクイン”(09年総理大臣賞南関東地区1位)全兄弟×
“CHエースクイン”(04年日本AP賞全国1位他)の娘
孫/23年東日本稚内GN総合5位
→ 20KA26370 B 新井 作翔 22年春GP総合10位
“白鶴247”の孫×“白鶴GP”(上記)の娘
→ 20KA19746 B 新井 繁 作翔 地区N総合45位
→ 19HA13775 RC 松浦邦彦 作
14年東日本稚内GN総合4位(ド・バルセロナ孫)×16年同レース総合2位
→ 19HB02783 BC 檜山郁夫 作
母/“アームストロング”の直系×12年GP総合優勝の“白鶴ミサ”
全兄弟/19年東日本稚内GN当日総合2位

令和7年度日本AP賞最後の椅子となる全国10位には、**新井 繁鳩舎 (埼玉北辰)**の「**24KA17704**」が選ばれた。「日本最優秀鳩舎賞」や「KBDB会長賞全国優勝」など数々の協会タイトルを手中に収めてきた同鳩舎だが、意外にも同賞は初である。ただし自身のオリジナル系統——「白鶴系」で見れば、「CHエースクイン」、「VENUS」を筆頭にあまたの日本AP賞を輩出してきている。また自鳩舎作も22年に同賞を獲得。今回は、作出者が他鳩舎——**加茂広鳩舎 (宮城第二)**であるものの、受

**本家定番の配合式でもたらしした
新井鳩舎の初日本AP賞!**

賞鳩は両親ともに新井鳩舎作、つまりは「白鶴系」だ。然るべき結果だと言えよう。

配合式は白鶴系のインブリード。父親は「ゴールデンペアII」の中でも「総理大臣賞↓GP総合優勝↓Rg総合優勝」という最高の当たりラインだ。うちGP総合優勝の「白鶴GP」の「直仔×孫」にして「ゴールデンペアII」で見れば三重近親。また前述の全国1位、そして今回の全国2位鳩を生み出した「ゴールデンペアI」の血が、最高種鳩「白鶴247」、前述の「CHエースクイン」を経由して流れている。

一方の母親は、新井鳩舎の作出ながら、松浦邦彦鳩舎(茨城西)作と檜山郁夫鳩舎(茨城セントラル)作との配合鳩だ。前者(松浦作)は、東日本稚内GN総合優勝他多数のベストテン鳩を輩出した「ド・バルセロナ」(*バルセロナZLU1200K優勝)の銘血がダイレクトに脈を打ち、後者には白鶴系に加え、ベルジュラックとカオールでN優勝を果たしたスパーCH「アームストロング」の血も組み込まれている。ちなみにさらに紐解くと、ガビー・ファンデナベールの源鳩「クライネン」の血が流れているところまで確認できた。

この異種同系交配は、昨年の東日本CH総合優勝&KBDB会長賞全国優勝の「白鶴トッペンクイン」を筆頭に本家でよく採用される定番の手法。新井鳩舎のテクを熟知して作られた1羽といったところであろう。

令和7年度 日本エースビジョン賞 受賞圏外申請鳩&鳩舎

申請鳩	羽色	性	申請鳩舎	所 属	合計入賞率
24FF01409	BC	♂	関口真佐俊鳩舎	新潟中央連盟 新潟北越連合会	0.11622
24HA01894	BC	♂	ミヤモトレーシング	茨城連盟 茨城東連合会	0.14836
24HS02716	B	♂	北島光男鳩舎	つくばね連盟 土浦中央連合会	0.10698
24HF02626	BC	♂	櫛毛政好鳩舎	東坂東連盟 真岡連合会	0.08445
24LK01359	BC	♂	岡澤豊次鳩舎	千葉東連盟 北総連合会	0.11582
24ET01788	B	♀	澤 晴英鳩舎	神奈川つばさ連盟 三浦半島連合会	0.15310
24PE03945	BC	♀	白井行弘鳩舎	愛知静岡連盟 東愛知連合会	0.11142
24YB01071	B	♀	市川敏夫鳩舎	西九州連盟 福岡連合会	0.08785

* 24年度版社員名簿順

日本AP賞全国1位・歴代受賞者一覧

* 11年と20年は受賞なし／所属は当時

年	愛称	脚環番号	羽色	性別	入賞率	受賞鳩舎(所属)
24年	VENUS	23LK06258	B	♂	0.003843	向後金治鳩舎 (東総)
23年	文殊連峰号	22RB04092	BC	♀	0.05526	杉田政雄鳩舎 (福井県)
22年	スピキュール・エース	21PE02139	BC	♀	0.03328	白井俊也鳩舎 (東愛知)
21年	タイム・レジェンド21	19XY00146	BC	♂	0.03104	上野栄一鳩舎 (なにわ)
19年	マリントップエース	18HA14063	BCW	♀	0.03978	飛田輝明鳩舎 (茨城北)
18年	雨姫	16RB01437	BC	♀	0.03707	吉田憲二鳩舎 (金沢)
17年	シャンテリースプリント号	16MM00531	B	♀	0.01520	及川 茂鳩舎 (新日本)
16年	リトルシャンテリー号	15MM01451	BW	♀	0.01264	及川 茂鳩舎 (新日本)
15年	咲咲	14SA07169	BW	♀	0.03680	高山初夫鳩舎 (中京)
14年	千姫	13LC00705	B	♀	0.02750	鈴木明夫鳩舎 (常北)
13年	岩岩系ハンセーヌ340	12PA06340	B	♀	0.02409	岩倉安廣鳩舎 (静岡吉田)
12年	—————	11HS11040	BC	♀	0.02708	籠田 元鳩舎 (稲敷中央)
10年	モーニングエース	09MA05773	BC	♂	0.02203	宮内淑雅鳩舎 (東京一之江)
09年	スーパーローズ	07MA02146	BC	♀	0.00835	鈴木信義鳩舎 (東京南部)
08年	—————	07LH11732	BW	♀	0.04335	古川順一鳩舎 (市川南)
07年	北竜パーフェクト	06LC06249	BC	♂	0.01949	鈴木邦男鳩舎 (常総中央)
06年	絢絢(ケンケン)	05SA11510	BC	♀	0.02573	高山初夫鳩舎 (中京)
05年	怪物シャンテリー	04MM00503	B	♂	0.01729	及川 茂鳩舎 (新日本)
04年	CHエースクイン	02KA08794	B	♀	0.01110	奥住 豊鳩舎 (埼玉中央)
03年	チャールストンベガ	01XB02278	BCP	♀	0.01643	今井雅之鳩舎 (姫路)
02年	—————	01KA51598	BC	♀	0.00813	新戸廣次鳩舎 (埼玉)
01年	—————	00HL08494	BC	♂	0.05127	小室梅吉鳩舎 (N埼玉東部)
00年	ロマン無双II	97X04825	BCW	♀	0.02327	吉村竹恒鳩舎 (なにわ)
99年	セレクトエース	97SA29164	BC	♂	0.03689	香山光男鳩舎 (岐阜県)
98年	—————	96PE10511	BC	♂	0.04175	芙蓉ロフト (東三河)
97年	みちのくシルバーキング	96BF34956	B	♂	0.01370	橋本治夫鳩舎 (水沢)
96年	—————	95KA52725	BC	♀	0.01508	柴田博之鳩舎 (埼玉草加)
95年	フレンドパワー	93LC17487	B	♀	0.03769	北澤利明鳩舎 (常総中央)
94年	カモエース	92RA06731	B	♂	0.02066	上柴秀雄鳩舎 (富山)
93年	いわき大和	90OH20408	BC	♂	0.02948	平子敏幸鳩舎 (いわき)
92年	—————	91PE03870	BC	♀	0.04347	芙蓉ロフト (東三河)

合計入賞率ランキング

順位	合計入賞率	受賞鳩	受賞鳩舎名	受賞年
1位	0.00813	01KA51598	新戸廣次鳩舎	02年
2位	0.00835	07MA02146	鈴木信義鳩舎	09年
3位	0.01110	02KA08794	奥住 豊鳩舎	04年
4位	0.01264	15MM01451	及川 茂鳩舎	16年
5位	0.01370	96BF34956	橋本治夫鳩舎	97年
6位	0.01508	95KA52725	柴田博之鳩舎	96年
7位	0.01520	16MM00531	及川 茂鳩舎	17年
8位	0.01643	01XB02278	今井雅之鳩舎	03年
9位	0.01654	02XB12406	今井雅之鳩舎	04年
10位	0.01729	04MM00503	及川 茂鳩舎	05年

受賞羽数ランキング

順位	羽数	受賞鳩舎名
1位	25羽	及川 茂鳩舎 (新日本)
2位	5羽	飛田輝明鳩舎 (茨城北)
3位	4羽	古川順一鳩舎 (市川南)
		横地光彦鳩舎 (静岡県)
		藤田淳一鳩舎 (尾北第三)
6位	3羽	鈴木邦男鳩舎 (常総中央)
		鈴木信義鳩舎 (東京南部)
		岸 正久鳩舎 (東京鳩米)
		安藤義文鳩舎 (元・三河東部)
		今井雅之鳩舎 (元・姫路)
		三宅良治鳩舎 (岡山中央)

* 24年度版社員名簿順

日本エースビジョン賞 歴代受賞鳩舎 (1992年~2024年)

※敬称略 ()は受賞時点の所属連合会 11年、20年は授賞なし

第26回(平成29年度・17年)

全国1位 及川 茂 (新日本)
 全国2位 阿部 正孝 (ニュー山南)
 全国3位 及川 茂 (新日本)
 全国4位 照山 俊郎 (千原)
 全国5位 飛田 輝明 (茨城北)
 全国6位 及川 茂 (新日本)
 全国7位 黒田 哲夫 (上総)
 全国8位 白土 勝治 (茨西)
 全国9位 中島 作巳 (土浦第一)
 全国10位 中根 一男 (常陸小川)

第17回(平成20年度・08年)

全国1位 古川 順一 (市川南)
 全国2位 松井 富士男 (西多摩)
 全国3位 吉田 三男 (東愛知)
 全国4位 深山 秀幸 (山の手)
 全国5位 小松 博 (小田原)
 全国6位 高橋 三郎 (埼玉南部)
 全国7位 吉村 和道 (宇都宮中央)
 全国8位 長谷 賢二 (加賀第三)
 全国9位 吉村 和道 (宇都宮中央)
 全国10位 東亜 ロフト (練馬)

第9回(平成12年度・00年)

全国1位 吉村 竹恒 (なにわ)
 全国2位 横地 光彦 (静岡中央)
 全国3位 岩片 清 (鳳)
 全国4位 山崎 昭夫 (つくば南部)
 全国5位 永井 勇 (新日本)
 全国6位 岡田 辰一 (ニュー愛知)
 全国7位 平山・阿部 (ニュー三陸)
 全国8位 堀内 正勝 (東京城西)
 全国9位 佐藤 昭六 (水沢第一鳩友)
 全国10位 後藤 哲郎 (水沢第一鳩友)

第1回(平成4年度・92年)

全国1位 芙蓉 ロフト (東三河)
 全国2位 松尾 勝利 (イヅミ)
 全国3位 大高 繁 (関東東部)
 全国4位 大賀 達也 (ニュー倉敷)
 全国5位 後藤 豪 (播州)
 全国6位 三宅 良治 (ニュー倉敷)

第27回(平成30年度・18年)

全国1位 吉田 憲二 (金沢)
 全国2位 古西 正二 (東総)
 全国3位 北口 純一 (金沢)
 全国4位 本間 正明 (札幌)
 全国5位 本間 正明 (札幌)
 全国6位 山崎 等 (長岡中央)
 全国7位 日晃 ロフト (東北宇都宮)

第18回(平成21年度・09年)

全国1位 鈴木 信義 (東京南部)
 全国2位 浜田 充弘 (三重第二)
 全国3位 杉山 洋 (土浦中央)
 全国4位 吉田 三男 (東愛知)
 全国5位 小峯 忠雄 (西多摩)
 全国6位 倉田 光市 (埼玉中央)
 全国7位 藤井 孝彦 (福井県)
 全国8位 橋本 三紀男 (しらさぎ西)
 全国9位 倉田 光市 (埼玉中央)
 全国10位 う さ ぎ (水戸梅香)

第10回(平成13年度・01年)

全国1位 小室 梅吉 (N埼玉東部)
 全国2位 円尾 友章 (播州姫路)
 全国3位 大久保和夫 (神奈川中央)
 全国4位 水野・渡辺 (東愛知)
 全国5位 小林 芳直 (愛知三州)
 全国6位 古橋 義彦 (三河東部)
 全国7位 藤田 淳一 (尾張)
 全国8位 及川 茂 (新日本)

第2回(平成5年度・93年)

全国1位 平子 敏幸 (いわぎ)
 全国2位 三宅 博幸 (ニュー倉敷)
 全国3位 今井 久 (酒田)
 全国4位 金光 保 (三重第三)
 全国5位 佐々木敏治 (武蔵野)
 全国6位 大野 操 (常南)
 全国7位 三宅 良治 (ニュー倉敷)
 全国8位 三宅 良治 (ニュー倉敷)
 全国9位 金子 正光 (市川南)
 全国10位 中島 耕二 (呉)

第28回(令和元年度・19年)

全国1位 飛田 輝明 (茨城北)
 全国2位 本橋 博美 (多摩東部)
 全国3位 古里 治彦 (京都雅)
 全国4位 小川安都志 (東金セントラル)
 全国5位 加古 一富 (東海)
 全国6位 永江ロフト (しらさぎ南)
 全国7位 及川 茂 (新日本)
 全国8位 川澄 栄 (真岡)
 全国9位 一文ロフト (茨東)
 全国10位 奥住 豊 (埼玉中央)

第19回(平成22年度・10年)

全国1位 宮内 淑雅 (東京一之江)
 全国2位 及川 茂 (新日本)
 全国3位 室田 英夫 (京北)
 全国4位 及川 茂 (新日本)
 全国5位 岡沢 宏 (稲敷中央)
 全国6位 岸 正久 (東京鳩栄)
 全国7位 小原 義忠 (木更津)
 全国8位 谷藤 隆 (鹿島)
 全国9位 米倉 勝弘 (下総)
 全国10位 佐藤 純一 (市川南)

第11回(平成14年度・02年)

全国1位 新戸 広次 (埼玉)
 全国2位 酒井 英男 (埼玉三川)
 全国3位 徳井 政重 (ニュー愛知)
 全国4位 三田 庄一 (札幌)
 全国5位 日高 清 (愛知三州)
 全国6位 水野・渡辺 (東愛知)
 全国7位 高橋 昇 (埼玉)
 全国8位 谷藤 隆 (鹿島)
 全国9位 野宮 博規 (五所川原)
 全国10位 小林 肇夫 (埼玉東部)

第3回(平成6年度・94年)

全国1位 上条 秀雄 (富山)
 全国2位 篠田 久義 (東京鳩栄)
 全国3位 山下鉄次郎 (東京鳩友)
 全国4位 堀内 弘之 (三重第一)
 全国5位 安藤 義文 (三河東部)
 全国6位 則竹 伸也 (尾張)

第30回(令和3年度・21年)

全国1位 上野 栄一 (なにわ)
 全国2位 長谷川 傑 (日本海)
 全国3位 山田 真澄 (日東)
 全国4位 平田 兄弟 (関東中部)
 全国5位 船川 勝信 (埼玉)
 全国6位 秋元 健一 (大子葉)
 全国7位 KANDA LOFT (鎌ヶ谷中央)
 全国8位 平川 智一 (岡山中央)
 全国9位 古里 治彦 (京都雅)
 全国10位 飛田 輝明 (茨城北)

第21回(平成24年度・12年)

全国1位 龍田 元 (稲敷中央)
 全国2位 佐藤 守 (東京南部)
 全国3位 内山ロフト (遠州)
 全国4位 及川 茂 (新日本)
 全国5位 白井 行弘 (東愛知)
 全国6位 海老 利明 (富山)
 全国7位 秋元 武美 (能代中央)
 全国8位 神谷 中 (尾張)
 全国9位 神谷 中 (尾張)
 全国10位 田島 富夫 (天竜浜名湖)

第12回(平成15年度・03年)

全国1位 今井 雅之 (姫路)
 全国2位 田中 秀樹 (房総)
 全国3位 UFO ロフト (春日部)
 全国4位 村山 広巳 (関東東部)
 全国5位 藤田 淳一 (尾張)
 全国6位 三川 清 (新潟北越)
 全国7位 田上 時男 (石岡)
 全国8位 鈴木 邦男 (常総中央)
 全国9位 都司 力 (鹿島)
 全国10位 松尾 勝利 (関西)

第4回(平成7年度・95年)

全国1位 北澤 利明 (常総中央)
 全国2位 鈴木 信義 (東京南部)
 全国3位 増田 和雄 (尾張)
 全国4位 シーファイト (福岡)
 全国5位 若岡 正任 (堺)
 全国6位 岡田 一雄 (高岡)
 全国7位 川浪 龍二 (福岡)
 全国8位 荒山 南芳 (加越)
 全国9位 原 勝巳 (新東)
 全国10位 宮下 昌士 (社)

第31回(令和4年度・22年)

全国1位 白井 俊也 (東愛知)
 全国2位 岡澤 豊次 (北総)
 全国3位 及川 茂 (新日本)
 全国4位 石井 節生 (ちくぜん)
 全国5位 平野 耕二 (宮城)
 全国6位 石川 建一 (埼玉北葛)
 全国7位 高島 茂 (茨城北)
 全国8位 伊藤 春男 (東総)
 全国9位 古西 正二 (鹿島)
 全国10位 スイカージング (成田)

第22回(平成25年度・13年)

全国1位 若倉 安廣 (静岡吉田)
 全国2位 及川 茂 (新日本)
 全国3位 佐藤 蔵岐 (岐阜県)
 全国4位 菊地 久幸 (稲敷中央)
 全国5位 永谷 準一 (尾張)
 全国6位 及川 茂 (新日本)
 全国7位 桑原 次郎 (三重第三)
 全国8位 岸 正久 (東京鳩栄)
 全国9位 須藤 信之 (栃木北部)
 全国10位 下道 隆章 (金沢)

第13回(平成16年度・04年)

全国1位 奥住 豊 (埼玉中央)
 全国2位 今井 雅之 (姫路)
 全国3位 藤田 淳一 (尾張)
 全国4位 古川 順一 (市川南)
 全国5位 岸 正久 (東京鳩栄)
 全国6位 今井 雅之 (姫路)
 全国7位 古川 順一 (市川南)
 全国8位 プリモロフト (房総)
 全国9位 都司 力 (鹿島)
 全国10位 金本 昇治 (埼玉)

第5回(平成8年度・96年)

全国1位 柴田 博之 (埼玉草加)
 全国2位 鈴木 邦男 (常総中央)
 全国3位 早乙女節郎 (横浜)
 全国4位 鈴木 信義 (東京南部)
 全国5位 坪井 和利 (尾張)
 全国6位 宗重 鮎 (堺)
 全国7位 大友 浩三 (仙北)
 全国8位 長島 祐二 (常総中央)
 全国9位 鈴木 善美男 (ニュー山南)
 全国10位 小林 芳直 (新東)

第32回(令和5年度・23年)

全国1位 杉田 政雄 (福井県)
 全国2位 及川 茂 (新日本)
 全国3位 飛田 輝明 (茨城北)
 全国4位 星 輝雄 (仙北)
 全国5位 藤井 孝彦 (福井県)
 全国6位 米田幸由司 (なんば)
 全国7位 鈴木 喜一 (埼玉北部)
 全国8位 鈴木・大内 L (茨城北)
 全国9位 杉山 浩紀 (N埼玉東部)
 全国10位 小川 正雄 (京葉)

第23回(平成26年度・14年)

全国1位 鈴木 明夫 (常北)
 全国2位 及川 茂 (新日本)
 全国3位 及川 茂 (新日本)
 全国4位 上田 俊郎 (関東南部)
 全国5位 及川 茂 (新日本)
 全国6位 和地 光尚 (五峰)
 全国7位 遠藤 宝 (富嶺)
 全国8位 望月 一 (大静岡)
 全国9位 及川 茂 (新日本)
 全国10位 NAT ロフト (東愛知)

第14回(平成17年度・05年)

全国1位 及川 茂 (新日本)
 全国2位 小野 久雄 (関東東部)
 全国3位 佐藤 守 (東京南部)
 全国4位 古川 順一 (市川南)
 全国5位 大竹 信雄 (新潟須賀川)
 全国6位 照沼 涉 (茨城葵)
 全国7位 藤田 淳一 (尾張)
 全国8位 海野 睦巳 (静岡県)
 全国9位 山下鉄次郎 (練馬)
 全国10位 小野 久雄 (関東東部)

第6回(平成9年度・97年)

全国1位 橋本 治夫 (水沢)
 全国2位 細谷 佐利 (鎌ヶ谷中央)
 全国3位 横地 光彦 (静岡中央)
 全国4位 那須川 徳秀 (駒形)
 全国5位 大塚 和則 (神奈川中央)
 全国6位 神谷 佳雄 (静岡西部)
 全国7位 稲垣 富二 (ユーカリ)

第33回(令和6年度・24年)

全国1位 向後 金治 (東総)
 全国2位 北澤 利明 (常総中央)
 全国3位 小笠原信哲 (青森中央)
 全国4位 吉田 憲二 (金沢)
 全国5位 鈴木 隆 (埼玉北葛)
 全国6位 及川 茂 (新日本)
 全国7位 小島 義光 (埼玉北葛)
 全国8位 永島 祥光 (埼玉幸手)
 全国9位 及川 茂 (新日本)
 全国10位 和田 兼一 (秋田)

第24回(平成27年度・15年)

全国1位 高山 初夫 (中京)
 全国2位 栗原 明則 (土浦第一)
 全国3位 黒田 哲夫 (上総)
 全国4位 及川 茂 (新日本)
 全国5位 うさぎロフト (茨城北)
 全国6位 堀尾 優 (紀泉)
 全国7位 関谷 肇 (群馬)
 全国8位 飛田 輝明 (茨城北)
 全国9位 笠原 通孝 (北星)
 全国10位 横地 光彦 (静岡県)

第15回(平成18年度・06年)

全国1位 高山 初夫 (中京)
 全国2位 及川 茂 (新日本)
 全国3位 橋本 三紀男 (しらさぎ西)
 全国4位 大竹 信雄 (新潟須賀川)

第7回(平成10年度・98年)

全国1位 芙蓉 ロフト (東三河)
 全国2位 大嶋 進 (房総)
 全国3位 安藤 義文 (三河東部)
 全国4位 堀川 淳一 (東京南)
 全国5位 小林 晴夫 (新東)
 全国6位 加賀 邦彦 (一関)
 全国7位 小池 一誠 (三重第二)
 全国8位 伊藤 康男 (山の手)
 全国9位 岡田 辰一 (新東)
 全国10位 田中 誠治 (武蔵野)

第25回(平成28年度・16年)

全国1位 及川 茂 (新日本)
 全国2位 及川 茂 (新日本)
 全国3位 及川 茂 (新日本)
 全国4位 本橋 博美 (多摩東部)
 全国5位 川澄 栄 (真岡)
 全国6位 長谷川 傑 (日本海)
 全国7位 李 根浩 (川崎)
 全国8位 永谷 準一 (尾張)
 全国9位 鹿島 成浩 (武蔵野)
 全国10位 栗原 明則 (土浦第一)

第16回(平成19年度・07年)

全国1位 鈴木 邦男 (常総中央)
 全国2位 金本 昇治 (埼玉)
 全国3位 谷澤 六雄 (埼玉草加)
 全国4位 黒川 弘一 (宇都宮)
 全国5位 米田幸由司 (なんば)
 全国6位 荒原 進 (鹿島)
 全国7位 佐藤 恒雄 (常総中央)
 全国8位 及川 茂 (新日本)
 全国9位 小峯 忠雄 (西多摩)
 全国10位 吉野 喜一 (埼玉北部)

第8回(平成11年度・99年)

全国1位 香山 光男 (岐阜県)
 全国2位 小窪 哲也 (静岡西部)
 全国3位 佐々木 優 (由利)
 全国4位 安藤 義文 (三河東部)
 全国5位 間宮 清 (東愛知)
 全国6位 堀江 康弘 (京阪)
 全国7位 鶴沢 牧夫 (ニュー盛岡)
 全国8位 横地 光彦 (静岡中央)
 全国9位 佐々木 優 (由利)
 全国10位 小谷 繁久 (与一)

